

第16回アジア競技大会 2010									
大会名		16th Asian Games 2010 Guangzhou			日付		2010年11月23日 14:00~		
場所		Aoti Hockey Field			天候		晴れ		
試合数		5-8位決定予備戦			通算結果		3勝2敗		
Country				RESULT			Country		
日本 JAPAN				Full Time 13 - 1			オマーン OMAN		
				Half Time 8 - 0					
Start	No.	Name			Card				
×	1	小澤和幸							
×	2	三澤孝康							
10	3	粥川幸司							
×	5	塩川直人							
9	6	三谷元騎							
41	7	長岡俊輔							
	8	畠山学							
×	9	山堀貴彦							
×	10	穴井善博							
×	11	北里謙治							
×	12	坪内一浩 (CAP)							
×	14	長澤克好							
×	19	川上啓							
×	20	高瀬克也 (GK)							
8	22	小野知則							
×	23	坂本博紀							
Coach		Siegfried Aikman							
UMPIRE		JANG Junqmin (CHN)							
Country	Min	Name			Action	Score			
JPN	2	山堀貴彦			PC	1-0			
JPN	3	山堀貴彦			FG	2-0			
JPN	8	北里謙治			FG	3-0			
JPN	18	長澤克好			PC	4-0			
JPN	20	坪内一浩			PS	5-0			
JPN	23	北里謙治			FG	6-0			
JPN	31	山堀貴彦			PC	7-0			
Country	Min	Name			Action	Score			
JPN	35	坪内一浩			FG	8-0			
OMA	36	RAJAB Basim			FG	8-1			
JPN	42	山堀貴彦			PC	9-1			
JPN	45	長澤克好			PC	10-1			
JPN	62	穴井善博			FG	11-1			
JPN	66	山堀貴彦			PC	12-1			
JPN	69	山堀貴彦			FG	13-1			
(前半)									
セミアイナル進出を逃し、5-8位決定戦に進んだ日本は、なんとしても5位を確保しなければならない。この日はオマーンとの戦い。非常にラフで、フィジカルの強いチームであるため気の抜けない試合である。									
試合開始早々の2分、No.9山堀のドラッグフリックが決まり、日本が幸先良く先制すると、続く3分にはゴール前の混戦から最後は山堀が押し込んで2-0とする。この日の日本は非常に集中した状態で試合に入り、開始直後から動きにキレがある。長短のパスを駆使し、素早いパス回しでオマーンディフェンスを翻弄する。守ってはNo.19川上を中心に鉄壁の守りを見せて、付け入る隙を与えない。前半のうちに山堀がハットトリックを達成するなど、大量8点のリードを奪って勝利を決定づける。									
(後半)									
後半も集中力を切らさず最終戦につながる試合をしたい日本。しかし後半開始直後の36分、スクープ処理にもたつく間にフリーでサークル侵入を許してしまう。最後は右からのシュート性のボールに対し走り込んだNo.11RAJAB Basimに合わせられ失点を喫してしまう。しかしここで集中力を切らすこと無く、ゴールを狙い続ける日本。No.14長澤のドラッグフリックも好調で、次々とゴールを積み重ねていく。終盤に入り、集中力の切れたオマーンのラフプレーに危険なシーンもあったが、冷静さを失わず終始ゲームを試合する。終わってみれば大量13点の猛攻でオマーンを破り、中国との5位決定戦に進むことになった。									
日本		58%	ボール保有率	42%	オマーン				
		22	シュート数	3					
		11	PC数	0					